



図 . 35

「前方基準点」の位置は、中切歯または側切歯の切縁から目の内眼角に向けて測定し、43mm上方のところです。「基準平面口ケータ」の切り込みの部分は、この測定のために使用します。切り込み部分の長さは43mmです。

単純に、切り込み部分の下端を右側中切歯または側切歯の切縁に置いてください。無歯顎患者では、下唇線から測定してください。「下唇線」は、上口唇が安静状態にある時の上口唇下縁です。いずれの場合も、右目の内眼角の下方で、口ケータの上端の点が患者の顔面に触れる部位に前方基準点の印を付けてください(図35)。



図 . 36

前方基準点と内眼角の間の距離を測定します(図36)。この測定値を今後の参考に患者のカルテに記録しておきます。この様にして、前歯が除去や修正されても固定されていて、不動の内眼角から下に向けて測定し、同じ前方基準点の位置を得ることができます。